

2017 岡山スカウトキャンポリー



基本実施要領（案）



日本ボーイスカウト岡山連盟

I 大会概要

1. 大会名称

『2017岡山スカウトキャンポリー』

2. 開催趣旨

本大会は、岡山県真庭市の北端、鳥取県境に位置した津黒高原の豊かな自然の中で、第17回日本スカウトジャンボリー(17NSJ)に向けたスカウトキャンプを通して、この地ならではの魅力あるプログラムに挑戦することで、「そなえよつねに」と「パイオニア」の精神をもってスカウト本来の創意工夫と班活動を通じて野外活動の楽しさを実感することを目的とする。

3. テーマ

『 Stick to it! 最後まで頑張れ! 』

B-Pの言葉より「困難に直面したときほほえみを浮かべ、ツグミが歌うように
ステイック トウ イット! 最後までがんばれ! と自分に言い聞かせよ そうすればなにも
かもうまくいく」

4. 会期・日程

平成29年8月6日(日) ～ 8月11日(金) 6日間

8月 6日(日)	参加者入場(12時から受付開始), 設営, 開会式
8月 7日(月)	プログラム
8月 8日(火)	プログラム
8月 9日(水)	プログラム, キャンプファイヤー
8月10日(木)	宗教儀礼, 班対抗プログラム, 閉会式
8月11日(金)	撤営, 参加者退場 (12時までには退場すること)

5. 会場

津黒高原キャンプ場

〔〒717-0513 岡山県真庭市蒜山下和 1080-1〕

6. 主催

日本ボーイスカウト岡山連盟

7. 後援

(案) 岡山県、真庭市、

8. 協力



II 参加対象(資格)及び申込

1. 参加者及び参加資格

- ① 平成29年度加盟登録したボーイスカウト、ベンチャースカウト、カブスカウト(クマ)で5泊6日のキャンプ生活に耐える健康とキャンプ技能を有し、保護者から参加の同意を得ている者。
- ② 平成29年度加盟登録した指導者、団委員、ローバースカウト及び保護者。なお、参加スカウトに女子が含まれる場合は、隊指導者の少なくとも1人は女性とすること。
17NSJに向けたキャンポリーとして、ボーイスカウト、ベンチャースカウト、カブスカウト(クマ)を参加対象者とし、ローバースカウト及び指導者が大会運営にあたる。

2. 参加者数

約200名

3. 参加形態

各団で隊編成を行う。
(スカウトが少人数の団は、他団と合同で隊編成することも可。)

4. 参加費

一人 5,000円(記念品代、キャンプ場使用料 他)
途中参加の場合は記念品及び運営費等 1,000円+泊 800円で参加費を徴収する。
食事に関連する経費は含まない。
選択するプログラムによっては実費が必要。

5. 参加申込

① 参加予定申込

各団は、平成29年3月31日までに参加予定申込書を岡山連盟事務局に提出する。

② 参加確定申込

各団は、平成29年6月30日までに参加費を添えて参加確定申込書を岡山連盟事務局に提出する。

6. 見学

見学時間は、9:00から17:00とする。ただし、キャンプファイヤーが実施される8月9日は21:00までとする。見学には申し込みを必要としないが、大会本部に参加人数等を報告した後に見学すること。

Ⅲ キャンポリーのプログラム

1. プログラム

会場である津黒高原キャンプ場やその周辺の環境を生かしながら、スカウトの成長につながる多彩なプログラムを提供する。

① 全体プログラム

開会式、班対抗プログラム(10kmハイキング)、キャンプファイヤー、宗教儀礼、閉会式

② 県連企画プログラム

各種アクティビティ、岡山ローバース提供プログラム

③ ベンチャースカウト向けプログラム

技能章(炊事章、野営章など)挑戦プログラム

④ 地区提供プログラム

各地区からプログラムを1日(午前、午後)提供する。

⑤ 各隊プログラム

技能向上プログラム、交流プログラムなど

⑥ その他

2. 服装及び携行品

① 服装

開会式、宗教儀礼、閉会式に参加する場合は、制服を着用する。制服には、参加章、記章、標章を正しく着用する。

生活および作業の際には、それに適した服装とし、プログラム参加時の服装については別に指示する。

② 携行品

快適なキャンプ生活を維持し、かつ楽しいキャンポリー活動ができるキャンプ用装備。携行する装備については、訓練で十分に使い慣れておくこと。

参加を予定しているプログラムで指示された装備。

なお、炊事にあたっては、17NSJに向け、薪での調理を基本とする。

3. 安全管理

参加者は、快適なキャンプ生活を基本として、スカウト精神を発揮した心に残る自然体験とするため、安全管理と事故防止に努めなければならない。自然の中での生活、プログラム、諸活動は、危険と表裏一体であることを認識して、安全の三原則を厳守しなければならない。

(安全の三原則)

- ・自分の安全は自分で守る。
- ・ルールを守る。
- ・安全を最優先する。

大会本部は、大会全体の安全管理・事故防止について安全ノートを作成し、参加者に配布することにより、参加者が認識を共有できるよう努める。

4. 保険

大会期間中の事故については、ボーイスカウト日本連盟の『そなえよつねに共済/賠償責任保険』で対応する。

共済に加入していない者については、各自の責任において保険に加入することとする。

5. 輸送

- ① 参加者の集散、装備品の輸送は参加者の責任において行う。自家用車に同乗する時は、自動車保険に加入し、交通事故等には十分な配慮を行う。
- ② 輸送に自家用車を使用する場合は、キャンプ場の駐車場を利用する。
- ③ テントサイトへの自家用車の乗り入れは原則禁止とする。設営や撤営時における装備品の輸送等については別途指示する。